

# Peach と Vanilla Air の統合について

～アジアの「リーディング LCC」を目指します～



ANA ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:片野坂 真哉/以下「ANAHD」)は、Peach Aviation 株式会社(本社:大阪府泉南郡、代表取締役 CEO:井上 慎一、以下「Peach」)とバニラ・エア株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:五島 勝也/以下「バニラエア」)を、2018 年度下期より統合に向けたプロセスを開始し、2019 年度末を目途に Peach を基盤に統合することを決定いたしました。

今後は、これまで培ってきた関空・成田などを拠点とした路線ネットワークのさらなる拡充に加え、魅力的な運賃設定や期待を超えるサービスの実践、様々なイノベーションを通し、国内外の潜在需要を喚起し、新しいマーケットを切り拓いてまいります。

## 【これまでの両社の歩みについて】

Peach は、「空飛ぶ電車」をコンセプトに、2012 年 3 月に日本初の LCC として関空より就航しました。イノベーティブなマーケティング手法など、航空会社の枠に捉われないことのない、新たな取り組みにより、お客様の体験価値を高めてきました。さらに、安定した運航品質と積極的な経営戦略の実行により、日本における LCC マーケットを牽引してきました。

バニラエアは、成田空港にて 2013 年 12 月の就航以来、首都圏需要を背景に国内線・国際線において、積極的に路線ネットワークを拡大してきました。国内線においては、奄美路線をはじめ新たなプレジャー需要を創出するなど、地域活性化にも貢献してきました。また、国際線においては台湾と日本各地を結ぶ路線展開などにより訪日需要を取り込んできました。

## 【統合の目的について】

今回の統合により、国内における需要の開拓、旺盛な訪日需要の獲得をさらに推し進め、グループ内の LCC 2 社が持つお互いの強みを融合することで競争力を高めていく方針です。2020 年以降、Peach は 50 機を超える機材と国内・国際線合わせて 50 路線以上の規模で、日本とアジアをつなぐ路線ネットワークのさらなる拡充を図り、アジアを代表するリーディング LCC を目指してまいります。

さらに、2020 年を目途に中距離 LCC 領域へと進出し、成長著しいアジアの需要を積極的に取り込むことで、訪日外国人旅行者数を 4,000 万人とする政府目標の実現に貢献してまいります。2020 年度には売上高 1,500 億円、営業利益 150 億円規模の目標を掲げ、統合による諸施策を実施することで、ユニットコスト低減などの運営の効率化を推進いたします。

ANAHD は、これまで同様、LCC 事業に関して経営の独自性を尊重しながら、ANA グループ全体の事業領域の拡大、収益の最大化に向けてポートフォリオを深化させてまいります。